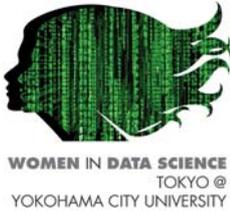




2020年10月16日
広報報室



アイデア・チャレンジ2020の募集を再開します！

横浜市立大学データサイエンス学部は、参加型コンテスト「WiDS^{*1} Tokyo @ Yokohama City University アイデア・チャレンジ^{*2} 2020」（以下「アイデア・チャレンジ2020」という）の募集を再開します。

「アイデア・チャレンジ2020」は、2019年12月に募集を開始したところ、新型コロナウイルス感染症の影響のため、2020年2月に募集手続きを中断していましたが、本日より、専用Webサイトにて募集を再開します。

本企画は、日々の膨大なデータを利活用することで、新たな価値（アイデア）を社会に提示し、豊かで持続可能な超スマート社会を築くことを目指しています。新しい募集期間は本日2020年10月16日から2021年1月12日まで。多くの皆様から、ウイズ/アフター コロナの社会状況を念頭に、SDGsの実現を意識した、「すこやかに働く」ためのアイデアを募集します。

◆アイデア・チャレンジ2020の概要

名 称：WiDS Tokyo @ Yokohama City University アイデア・チャレンジ2020

応募期間：2020年10月16日(金)～2021年1月12日(火) (17時必着)

テ ー マ：「すこやかに働く」

対 象 者：一般、学生（大学学部生以下）。1チーム1名以上で、1チーム当たり半数以上を女性とします。

応募方法：主催者がとりまとめ提供するデータセット、もしくは公表されているデータ等を利活用し、テーマに即したアイデアについて指定の様式で提出します。なお、アイデアの創製に当たっては、国際連合の「持続可能な開発目標」(SDGs)の実現という視点を考慮頂きます。

審査方法：一次審査 横浜市立大学データサイエンス学部教員等による書類審査

最終審査 一次審査を通過した一般の部3組以内、学生の部3組以内の者について、シンポジウム運営委員が書類審査し、各部、優秀賞、最優秀賞を決定します。

表 彰：優秀賞受賞者、最優秀賞受賞者については、第3回シンポジウムにおいて表彰します。また、最優秀賞受賞者については、プレゼンテーション動画を別途作製し第3回シンポジウム(2021年3月開催予定)の際に公開します。

お問い合わせは、dsc_info@yokohama-cu.ac.jp までお願いいたします。

※募集に関する詳細等については、専用Webサイト(<https://wids-ycu.jp>) (10月16日公開)をご覧ください。

参 考

※1 【WiDS】

Women in Data Science の略。米国スタンフォード大学の ICME (Institute for Computational & Mathematical Engineering) を中心とした世界的な活動であり、性別に関係なくデータサイエンス分野で活躍する人材の育成を目的とし、世界各地でシンポジウム等を実施。日本では 2018 年度より本学が、スタンフォード大学 ICME と連携し、日本国内の産官学の協力を得て、WiDS を冠したシンポジウム「WiDS TOKYO @ Yokohama City University」を主催しています。

◇WiDS アンバサダー 小野 陽子 (おのようこ) 准教授 (横浜市立大学 データサイエンス学部)



WiDS アンバサダーは、WiDS の地域大会の企画・実施およびデータサイエンティストの活動全般をサポートする役割を担う者として、米国スタンフォード大学より任命されるものです。小野准教授は、日本国内で初めて WiDS のアンバサダーに就任し、産官学による連携のもと、WiDS を冠した本シンポジウムおよびアイデア・チャレンジの企画・実施等の活動を行っています。

※2 【アイデア・チャレンジ】

アイデア・チャレンジとは、日々の膨大なデータを利活用することで、新たな価値 (アイデア) を社会に提示し、豊かで持続可能な超スマート社会を築くことを目指したアイデア・コンテストです。

今回のテーマは「すこやかに働く」。ウイズ/アフター コロナの社会状況を念頭に、SDGs の実現を意識した、データに基づく、新規性の高い、斬新なアイデアを学生、一般より広く募集します。